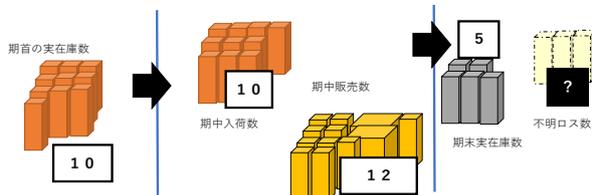


問題番号	問題文			正答	ページ	配点	図
	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3				
1	1948年にアメリカでは最初のショッピング・センターが誕生した。それでは1960年代に多くのショッピング・センターが作られたのはどのような理由によるものか。			3	8	1	
	都市部の土地の高騰	都市への人口の集中	モータリゼーションの発展				
2	日本では1960年代に高度経済成長を背景に小売業も急速に発展した。70年代にはスーパーマーケットなどのチェーン・ストアが急速にその勢力を伸ばしてきたが、その象徴的な出来事がそれまで売上高トップの三越百貨店にあるチェーン・ストア企業が追い抜き日本一の座についたことである。あるチェーン・ストア企業とはどれか。			3	8	1	
	ジャスコ(今のイオン)	イトーヨーカ堂	タイエー				
3	顧客は小売業の価値として「便利さ」「経済性」「エンジョイ」を求めている。それでは「自分のサイズがある」は、どの価値に当てはまるか。			3	10	1	
	エンジョイ	経済性	便利さ				
4	次の店舗形態(業態・フォーマット)のうち一般的に最も商品の種類が少ないのはどれか。			3	12	1	
	スーパーマーケット	ドラッグ・ストア	コンビニエンス・ストア				
5	一般に販売管理費に占める割合が最も多いものはどれか。			3	13	1	
	広告宣伝費(販促費)	不動産経費(地代・家賃・修繕費・…)	人件費(給与・賞金・賞与・…)				
6	オムニチャネル化について以下の説明で正しいものを選び、ネットビジネスで業容を拡大した企業が実店舗を持ち、両方の分野でビジネスを行うことを指す。一方で、最初から実店舗を持つ企業(例えばスーパーマーケット企業など)がネットビジネスに進出することは含まれない	インターネットを利用した販売方法で、自宅を含む指定の場所に商品を届けるサービスと、インターネットで注文した商品を店舗で受け取るBOPIS(Buy Online Pickup In Store)サービスを融合したものの	当初はネットで通信販売の一種と見なされてきたインターネットを利用した商品を販売する企業が、実店舗の運用を行い、一方で実店舗を持つ企業が、ネット販売に進出し、利用する側にとっても店舗とネットの境目がなくなっていること	3	14	1	
7	eコマースでは、実際の店舗よりもはるかに高いレベルの商品管理・在庫管理が求められる。以下の三つの理由のうち正しいものはいくつあるか。 ①実在庫情報が誤っていることで購入しようとする顧客が購入できずに落胆するから ②実在庫情報が誤っていることで例外処理が発生し手間やコストがかかるから ③実在庫情報が誤っていることでそのeコマースサービスに対する信頼度が低下するから			3	14	1	
	ひとつが正しい	ふたつが正しい	三つとも正しい				
8	小売業の役割は顧客に商品を販売することである。以下の説明で正しいものはどれか。			3	16	1	
	顧客がはっきりと認識している「欲しいもの」だけを提供すればよい	顧客にとって不要な商品でも一品でも多く販売するべきである	顧客が認識している「欲しいもの」だけではなく、顧客が知らないものでも、生活をより豊かに、楽しく快適にできる商品があることを知らせ、購入してもらうことも大切である				
9	クリエイティブ・ラインについて以下の説明で正しいものはどれか。			3	19	1	
	チェーン・ストアにおいて店舗を運営し、定められたルールに沿って作業を完全に行うと同時に利益を最大化する事が求められる	営業活動に関係する調査や新しいルールの起案、決定、徹底を行う	商品の仕入れ、品揃え、プレゼンテーション、販売価格、在庫調整、品目あたりの販売量など商品に関する数値責任を持つ				
10	サプライ・チェーン・マネジメントについて以下の説明で正しいものはどれか。			3	24	1	
	商品を仕入れるベンダー、もしくは小売業が自ら運営する物流センターから店舗へ、そして最終的に消費者の手に渡るまでの複雑なプロセスを効率よく実現するための活動	商品が生産者(製造者)から物流センターを通じて、店舗に届けられ、売場に陳列されるまでの複雑なプロセスを効率よく実現するための活動	商品が生産者(製造者)から最終的に消費者の手に渡るまでの複雑なプロセスを効率よく実現するための活動				
11	商品が店舗に届けられるまでにはさまざまな人間が関わる。では、以下の説明で正しいものはどれか。			3	27	1	
	商品が店舗に届けられるまでのプロセスにおいては、どのプロセスにおいても厳密な検数や検算が行われている	商品が店舗に届けられるまでのプロセスは、厳密に管理されており、そのようなシステムで運営されているため、全くミスは生じない	商品が店舗に届けられるまでのプロセスは、厳密に管理されており、そのようなシステムで運営されているものの、人間が行うことであり、全くミスがないとはいえない				
12	不明ロスの原因について以下の説明で正しいものはどれか。			3	28	1	
	不明ロスの原因は、小売業の店舗が誰でも自由に入出りでき、セルフサービスの販売形式をとり、不特定多数の人間によって商品に触ることができることに限られる。	不明ロスが生じるのは、多くの小売業の店舗では多種多様な商品を販売していることに起因している。そのために限られた従業員では十分な商品管理をすることが困難となる。したがって商品の種類を限定することで不明ロスを完全に無くすることが可能である。	不明ロスの原因は多種多様で、小売業の店舗が不特定多数の人が自由に入出りできることや、非常に多くの様々な商品を販売しており限られた数の従業員で管理することが難しいこともその原因の一部である				
13	「より良い品をより安く」を実現するためにはどのような努力が必要か。			3	29	1	
	低賃金の従業員を増やし、一方でできる限り少ない人数で店舗を運営する	競合する相手の店舗よりも安く売る	従業員に十分な処遇を提供する				
14	客単価について以下の説明で正しいものはどれか			3	31	1	
	客単価とは、客が購入した商品点数の平均である	客単価を求めるには売上高と顧客の購入した商品の平均単価があればよい	客単価とは、売上高を客数で割り、一人当たりの購入額の平均である				
15	次の表に示された損益計算書の例(一部)の空欄の値はいくらか。			3	31	3	○
	(イ) 1165 (ロ) 800	(イ) 1155 (ロ) 295	(イ) 1175 (ロ) 750				
16	商品回転率について以下の説明で正しいものはどれか。			3	33	1	
	商品回転率とは年間売上原価合計を平均原価棚卸額で割ったものであり、年間売上原価合計を増やすと商品回転率の値は小さくなる	商品回転率とは、年間売上原価合計を期中の仕入原価合計で割ったものであり、期中売上原価合計を増やすと商品回転率の値は小さくなる	商品回転率とは年間売上原価合計を期中平均原価棚卸額で割ったものであり、平均原価棚卸額が少なければ、商品回転率の値は大きくなる				
17	オープン・トゥ・バイについて以下の説明で正しいものはどれか。			3	33	1	
	仕入れ担当者の数量で仕入れることができるが最終的な利益の責任が仕入れ担当者にあると規定すること	在庫過多にならないようにしながら欠品を防ぐために在庫調整をすることだが、商品回転率を高めるために不要な在庫を極力減らすこと	店舗に在庫が必要以上に積みあがってしまわないように、仕入れ(額または量)を設定し、その枠内で在庫高の増減をコントロールしようとする技法				
18	スペース生産性の説明で正しいものはどれか。			3	34	1	
	陳列スペースあたりの売上高のこと	店舗総面積の1平方メートルあたりの平均売上総利益のこと	売場の陳列スペース当たりの売上総利益のこと				
19	顧客が買いたい商品がなく、もしその商品在庫があれば販売できたことで生じる損失を何というか。			3	34	1	
	販売損失	売上損失	機会損失				
20	次の図は数量ベースでの不明ロスを説明したものである。空欄に入る数値はどれか。			3	35	1	○
	1個	2個	3個				
21	意図的にロスを減らそうと期末棚卸における不正行為は次のうちのどれか。			3	35	1	
	棚卸実施前に入荷した一部の商品棚卸で計上しない	棚卸実施前に一時的に商品の入荷を減らす	棚卸実施の後に入荷した商品の一部を棚卸に計上する				
22	売価還元法で原価率(粗利益率)を求めるために必要な数値は何か。			3	36	1	
	期末在庫額(原価)	期中仕入額(売価)	期首在庫額(原価)				

Q20



Q15

項目	数値
売上高	(イ)
売上原価	725
売上総利益	450
販売管理費	375
営業利益	(ロ)

以下略